

小学校 第5学年 音楽科 学習指導案

1 題材名

「アンサンブルのみりよく」（教育出版5年）

教材 組曲「カレリア」から「行進曲風に」（鑑賞教材） 「音楽のおくりもの」（歌唱教材）

2 題材について

(1) 本題材は、小学校学習指導要領の第5学年及び第6学年の目標(3)「様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を高め、音楽を味わって聴くようにする。」を受け、2内容B鑑賞(1)「ア 曲想とその変化などの特徴を感じ取って聴くこと。」「イ 音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取り、楽曲の構造を理解して聴くこと。」「ウ 楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさを理解すること。」をねらいとしている。さらに、2内容A表現(1)「エ 各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌うこと。」とも相互関連させて、鑑賞したり表現に生かしたりすることもねらいとしている。

鑑賞教材「組曲『カレリア』から『行進曲風に』」は、二つの主題が交互に現れ、その旋律を演奏する楽器群も旋律同様に変化している構成になっている。オーケストラのダイナミックな響きとアンサンブルの美しさや楽器群が醸し出す響きを生かした曲の構成に気付かせることができるのに適した楽曲である。また、歌唱教材として「音楽のおくりもの」を取り入れる。この曲は今月の歌で斉唱として歌ったことがある。二つの声部の働きとその効果について、鑑賞したことをもとに合唱表現に生かすのに適している曲である。

この学習では、音色・旋律・リズム・反復・変化といった〔共通事項〕に加え、音楽の縦と横の関係にも着目させ、小学校高学年の鑑賞の学習内容を充実させることができると考えられる。また、学習課題における問いの工夫を行うことで、子どもたちの主体的かつ協働的な学びの活性化を図りたい。

(2) 本題材の系統は次のとおりである。

第4学年	第5学年（本時）	第6学年
「かけ合いと重なり」 ・曲想とその変化を感じ取って聴くこと。 ・音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取り、楽曲の構造に気を付けて聴くこと。 ・楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを、言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付くこと。 <教材> 「水上の音楽」から 「アラ ホーン パイプ」	「アンサンブルのみりよく」 ・曲想とその変化などの特徴を感じ取って聴くこと。 ・楽曲を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取り、楽曲の構造を理解して聴くこと。 <教材> 組曲「カレリア」から 「行進曲風に」	「音楽の聴きどころ」 ・曲想とその変化などの特徴を感じ取って聴くこと。 ・楽曲を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取り、楽曲の構造を理解して聴くこと。 ・楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして楽曲の特徴や演奏のよさを理解すること。 <教材> 交響曲第5番「運命」より 第1楽章

(3) 児童の実態は次のとおりである。（33人）

音楽の授業は	とても楽しい	楽しい	あまり楽しくない	楽しくない
	3	27	2	1
四つの学習内容のうち一番好きなもの	歌う（歌唱）	楽器の演奏（器楽）	つくる（音楽づくり）	聴く（鑑賞）
	9	5	1	18
四つの学習内容のうち	歌う（歌唱）	楽器の演奏（器楽）	つくる（音楽づくり）	聴く（鑑賞）

二番目に好きなもの	7	14	6	6
楽器の音を聴いて、その楽器の名前がわかる	ほぼ全部わかる	半分くらいわかる	あまりわからない	わからない
	2	29	0	2
曲を聴いて、主旋律と伴奏の違いがわかる	わかる	だいたいわかる	あまりわからない	全然わからない
	12	20	0	1
旋律が繰り返されたり重なったりしていることが聴き取れる(分かる)	聴き取れる	だいたいできる	あまりできない	全然できない
	わかる	だいたいわかる	あまりわからない	全然わからない
	15	18	0	0

※約半数の児童が、鑑賞の授業を好んでいる。また、曲を聴いて楽曲の特徴（旋律と伴奏及び重なり）が分かる児童も多数いる。

(4) 指導に当たっては、次の項目に留意する。

- 教師の発問・指示や児童の発言の際に、音楽のどの部分を示しているのかを共有できるような音楽の可視化に積極的に取り組むことで、聴き取ったり感じ取ったりした曲の部分が効果的になるような学習活動の工夫を行う。
- 児童が主張する理由の根拠となる音や音楽に常に戻ることを大切に学習展開の工夫を行う。
- 研究の視点①②に基づき、次のような工夫を行う。

【研究の視点①】

「見方・考え方」に着目した問いの工夫

音楽を形づくっている要素に着目する問いを工夫することで、音楽的な見方・考え方を働かせて曲を聴き取り、音楽の特徴をつかむことができるようにする。

【研究の視点②】

学びを実感する振り返りの工夫
学びの振り返り

最初の聴き方（知覚）・感じ方（感受）から、どのように変わったのかということが分かるような振り返りの工夫を行う。自己内比較や他者との比較・相違を実感できるようにする。

3 題材の目標と評価規準

題材の目標	<p>曲想とその変化、曲の構造やその特徴の面白さを感じ取って聴き、自分なりに曲の魅力について考え、言葉や体の動き、図や色による区別などで表すことができる。</p> <p>声部の役割や曲想を生かした表現を工夫して合唱することができる。</p>		
音楽への 関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
①曲想とその変化、曲の構造やその特徴に興味・関心を持ち、歌唱や鑑賞の学習に主体的に取り組もうとしている。	①曲の仕組みを理解し、歌詞の曲想を生かした表現を工夫しながら、どのように歌ったり演奏したりするかについて思いや意図を持っている。	①主な旋律や副次的な旋律、全体の響き、伴奏を聴きながら拍の流れにのり、自分の声を友達の声と調和させて合唱をしている。	①合唱やオーケストラの響きを感じ取り、そのよさや美しさを感じ取りながら、曲全体にわたる曲想とその変化などの特徴に気付いて聴いている。 ②音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、曲の構造や特徴を理解して、味わって聴いている。

4 指導・評価の計画（5時間取扱い 本時3／5）

題材を貫く問い：聴いて見える音楽「図形楽譜」をつくって、自分の考えや思いを伝えよう。

次	時	学習活動	研究の視点	評価
一	3	1 組曲「カレリア」から「行進曲風に」を、全曲通して聴き、オーケストラの楽器（楽器群）を確認し、曲の組み立て図をつくる。 2 全体の曲想や二つの旋律を演奏する楽器群の変化を聴き取る。	【研究の視点①】 見方・考え方に着目した問いの工夫	【関心・意欲・態度】 （ワークシート・観察） 【鑑賞の能力】 （ワークシート・観察） （児童の発言）
	本時 3/3	3 旋律の反復と変化などの、音楽を形づくっている要素の顕著な特徴についてまとめ、図形楽譜を作成し、旋律が重なるよさを聴き取る。	【研究の視点①】 見方・考え方に着目した問いの工夫	【鑑賞の能力】 （ワークシート・観察） （児童の発言）
二	2	4 「音楽のおくりもの」を斉唱し、対旋律を覚え、二部合唱をする。 5 声の響きや表現を工夫したことを図譜にメモし、それを活用して合唱する。	【研究の視点②】 学びを深める 振り返りの工夫	【関心・意欲・態度】 【音楽の創意工夫】 【音楽表現の技能】 （観察・ワークシート）

5 本時の学習

(1) 目標

楽器群ごとの旋律の重なりを表す「図形楽譜」をつくり、音楽の特徴を伝えることができる。

(2) 展開

過程	学 習 活 動	指導上の主な留意点及び評価	備考
導入 10分	1 「行進曲風に」を全曲通して聴き、曲の構造と主題の旋律を確かめる。	○前時までの学びの振り返りができるように、旋律を担当する楽器群や曲の構造を示す「曲の組み立て図」やア・イの旋律を示す「図形楽譜」を示しながら聴くことができるようにする。	CD 楽器群パネル 曲の組立図
	2 本時のめあてを確認する。		
展開 28分	[本時のめあて] 曲が見える「図形楽譜」をつくって音楽の特ちょうを伝えよう。		
	3 [問い]について話し合う。	[本時の問い]二つのせんりつの特ちょうが見える図形楽譜にするにはどうすればよいだろうか。	
	(1) 自分なりの考えを持つ。	【研究の視点1】 着目させたい要素（音色・反復・音の重なり）が明確になるように、それぞれがどのような変化をしているのかを示すことができるようにする。 能動型学習 （ポイント） ②・④（曲の組み立て図で六つにわけた2番目と4番目）それぞれの部分で旋律の重なりが顕著な楽器群（金管楽器と打楽器）の旋律のリズムに着目して話し合う。 ○②では打楽器のリズムの特徴を、④では打楽器の効果に加えて、トランペットの合いの手のリズムや②より音の厚みが増し迫力ある金管楽器の旋律の特徴を表すことができるようにする。 徹底指導 （ポイント） 楽器群ごとのカラー付箋を準備し、主な旋律の他にどの楽器群の旋律が重なるかを考えさせる。 ○なぜ、そのように重ねた形の図形楽譜にしたのかという理由をつけて説明させる。 ○「音楽のどの部分なのか」をすぐに音で確認できるようにすることで、曲を聴くことと図形楽譜を見ることが関連付けられるようにする。 評価：鑑賞の能力（学習シート・話し合いの様子） B基準 旋律の重なりを示す「図形楽譜」をつくり、音楽の特徴を伝えている。 A基準 B基準に加え、リズムだけでなく音の高さの特徴にも気付き、楽器群の音色の細かな変化を表した図形楽譜を作り、音楽の特徴を伝えている。 〈B基準に達していない児童への手だて〉 ○主題旋律の図形楽譜を指し示しながら、適宜声かけをする。	学習シート （個人用） グループで意見をまとめるための学習シート 楽器群ごとの付箋 ※弦＝緑 木管＝黄 金管＝桃 打＝水色
	(2) グループで互いの考えを交流する。		
【言語活動】 （設定の意図） 音楽の要素を基に、その曲に対する見方・考え方を働かせて工夫点について考え、意見を伝え合うことによって、言語活動を活発化させる。			
4 全体で意見を交流する。 旋律の重なりを表した「図形楽譜」を発表する。	大型テレビ 実物投影機		
整理 7分	5 学習したことを振り返る。	○友達の見解から納得したものを取り入れさせる。 ○振り返りの視点（わ・が・とも）を示し、次時への意欲を高める。	振り返りの視点パネル